

令和 6 年度芸術科特色化選抜内定者 課題説明

《 書道専攻生徒》

芸術科での新しい学校生活を充実させるために、以下の課題に取り組んでください。

◎課題

「きゅうせいきゅうらいせんめい九成宮醴泉銘」・「こうしびようどうひ孔子廟堂 碑」の古典臨書

この PDF には、表紙揮毫例と2種類の課題についてそれぞれ5課題入っています。

- ①表紙揮毫例
- ②「九成宮醴泉銘」 (別紙No. 1～5)
- ③「孔子廟堂碑」 (別紙No. 6～10)

※各古典の書き方については資料を添付していますので、参考にして練習してください。

- 練習用紙は各自のものを使用してください。
- 墨は普段使用している墨液を使用してください。

※この課題は入学後の半紙コンクールに出品しますので、しっかり練習してください。

なお、名前は入学後に書きますので、半紙の左側2cmほどの余白を空けておいてください。

※添削指導のため「表紙と各課題を1枚ずつ、計11枚」をクリップ止めして3月15日(金)午後の合格者説明会に持参してください。

添削した作品は当日、物品購入後に返却します。

◎3月の合格者説明会の際に清書用紙を配布した上で、課題提出の要領を説明します。

課題清書提出は4月9日(火)入学式後の芸術科ガイダンスです。

芸術科書道専攻合格者課題

九成宮醴泉銘
孔子廟堂碑

受検番号・氏名

*表紙は半紙に毛筆墨書してください。作品は番号順に重ね、表紙を付け、右上をクリップでとめて指定の封筒に入れて提出すること。

古典名 九成宮醴泉銘

筆者名 欧陽詢 中国・唐時代 六三三年

「九成宮醴泉銘」について

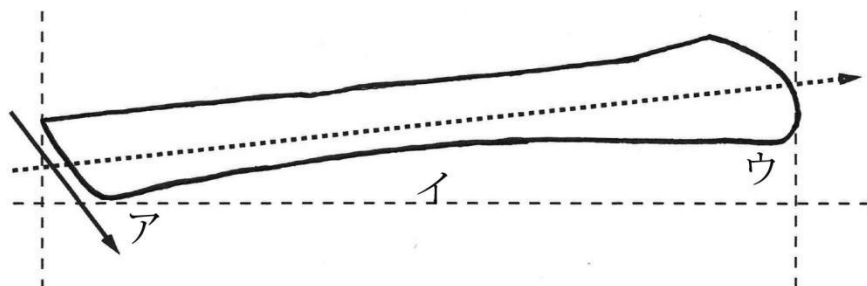
この碑は、唐の太宗皇帝が避暑地の離宮である九成宮（現在の陝西省麟游県）を訪れたときに、その敷地の片隅から泉が湧き出したことを記念して建てられた碑です。当時名文家として名声の高かった政治家の魏徵が文章を作り、皇帝の命を受けた欧陽詢が文字を書きました。欧陽詢の晩年の書です。

書風について

点画の接し方や空間の取り方が細部にわたって工夫されており、縦長で胴体を引き締めた字形（背勢）は、整然としていて隙がありません。点画の構成も揺るぐことがなく、鋭い直線的な運筆は紙面に切り込むような書きぶりです。

楷書様式の完成形を示しているとして、古来より『楷書（法）の極則』と評価されています。

① 鋭く引き締まった用筆



ウ、収筆
一度押さえた後、軽く筆を起こして打ち込み直し、起筆方向へ押し戻すように紙面から筆を離します。

イ、送筆
直線を意識し、収筆に向かつて筆圧をかけていく。長い線では中間を引き絞るようになると鋭い筆勢が増します。

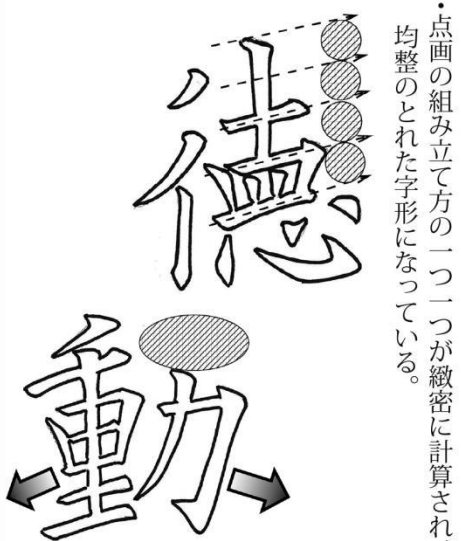
ア、起筆
筆の軸を立て、鋭く切り込むように筆をおろします。角度は30〜45度くらいになります。

② 縦長で背勢



・字形は縦長な文字が多い。
・転折では一度しっかり筆を止め、筆の弾力を活かして内側へ反るように書きます。
↓背勢

③ 緻密な字形の構成



・点画の組み立て方の一つ一つが緻密に計算され、均整のとれた字形になっている。

九成宮醜泉銘①



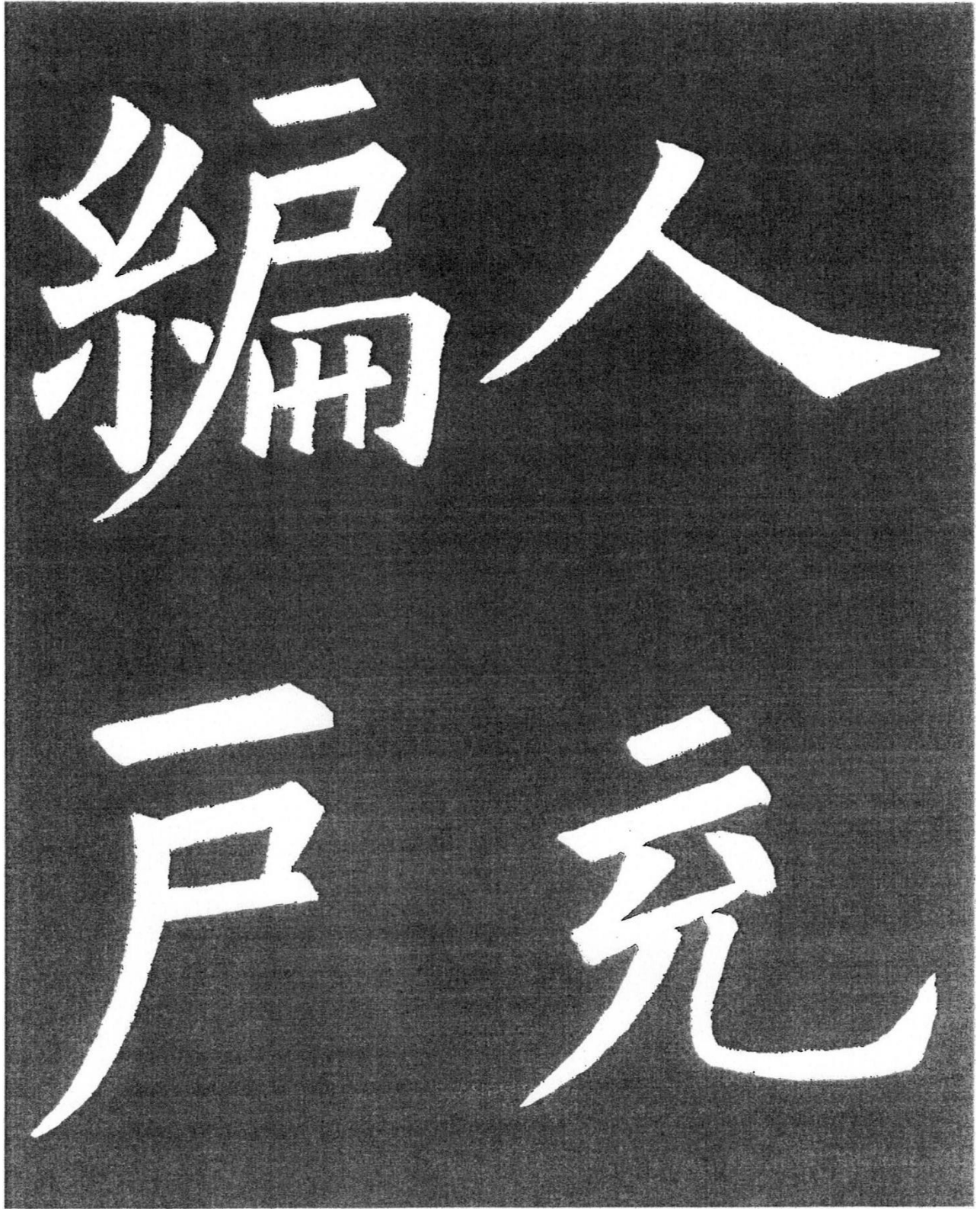
「撫臨億兆」

九成宮醒泉銘②



「氣淑年和」

九成宮醜泉銘③



「人充編戶」



「微風徐動」



「聖人之德」

古典名 孔子廟堂碑

筆者名 虞世南 中国・唐時代 六二八〜六三〇年頃

「孔子廟堂碑」について

この碑は、唐の太宗皇帝が学芸振興のために、長安（現在の陝西省西安市）に孔子を祀る廟を再建したことを記念して建てた碑です。

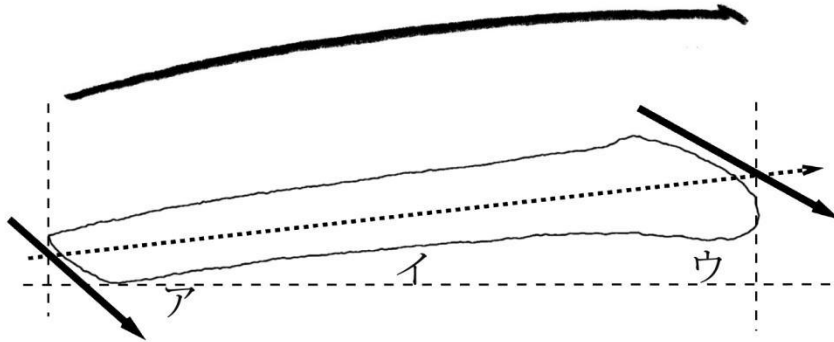
文も書も虞世南によるもので、晩年の頃の書と考えられています。原石は唐時代のうちに焼失し、その後何度か刻し直されています。

書風について

筆の弾力を生かした、軽快な筆使いで書かれています。横画や右払いに見られる伸びやかな線、力を内に秘めた温和さに、高い品格が感じられます。

完成された楷書の典型を示し、格調の高さでは及ぶものがないと評価されています。

① ゆったりとした用筆

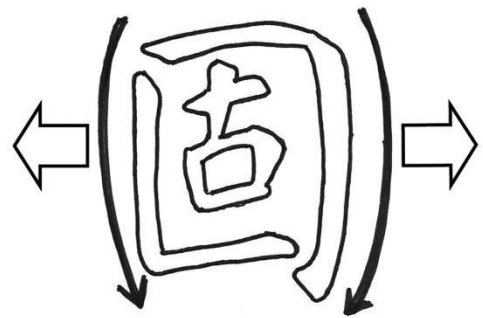


ウ、収筆
軽く筆を止め、左上に押し上げるように穂の腹を浮かせてから軽く押さえ直す。角度は起筆より立て気味にする。

イ、送筆
筆圧は収筆に向かってだんだん強くなっていく。穂先は線の中心を通すように運ぶ。

ア、起筆
穂先を左斜め上に向けて筆を置く。（角度は15〜30度くらい）

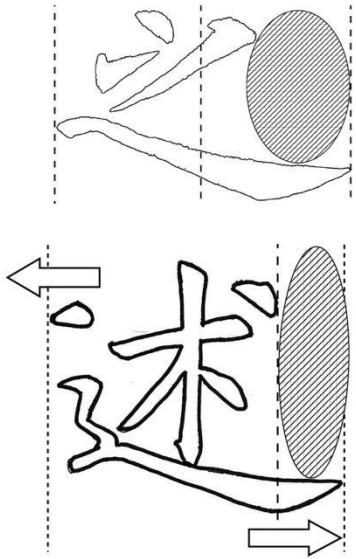
② 向勢で丸みがある。



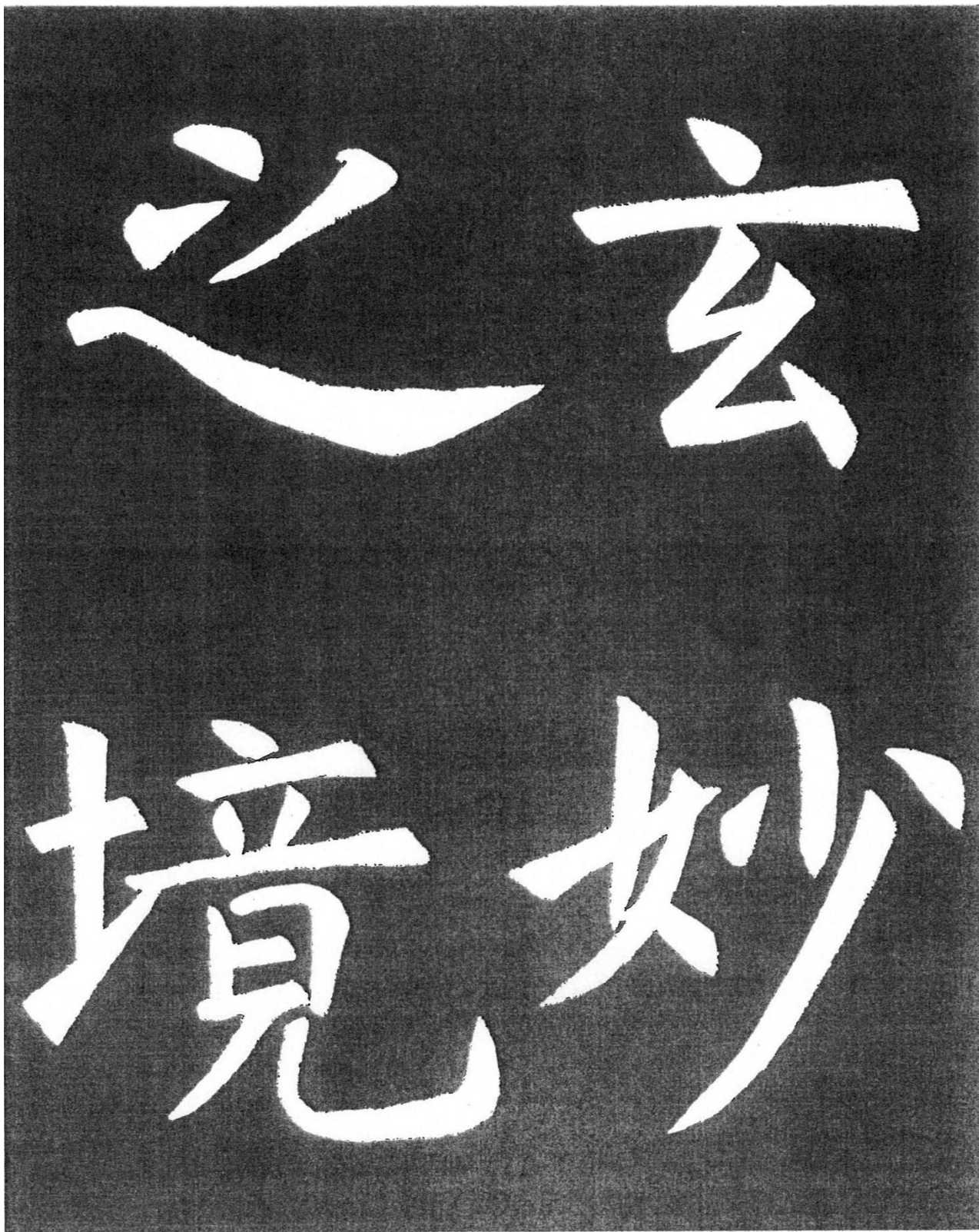
・ 転折は丸みを持たせる。

・ 向かい合う縦画が丸く膨らむように構える。
↓ 向勢

③ 伸びやかな点画



・ 右払いは緩やかに、長めに書く。
・ 文字の重心を左に寄せ、払いの長さを強調する。



「玄妙之境」

孔子廟堂碑⑦



「四海之內」

孔子廟堂碑⑧



「祖述先聖」

孔子廟堂碑⑨



「丹書表瑞」



「挺生聖德」